

ビールと音楽の国 チェコ共和国

豊田通商ヨーロッパ チェコ支店 Director



リボル・シュテフェック (Libor Šteffek)

中欧の内陸国であるチェコ共和国は、その位置から「欧州の中心」といわれ、西はドイツ、北はポーランド、南はオーストリア、東はスロバキアと国境を接している。独立国家チェコ共和国が現在の形態で誕生したのは1993年だが、それ以前の約70年間は東のスロバキアと一つの国家を形成していた。今も、チェコスロバキアという国名を覚えている人も多いことだろう。しかし、1993年、チェコスロバキアは二つの独立国家に分離し、チェコ共和国とスロバキア共和国が誕生した。現在、チェコ共和国の人口は約1,060万人、首都プラハには130万人が暮らしている。

チェコ共和国で有名なものといえば、なんといってもビールである。当然ながら、1人当たりの年間ビール消費量は群を抜き世界一を誇る。2018年のビール消費量は1人当たり138ℓで、これにオーストリアの105ℓ、ドイツの101ℓが続く。2年ほど前に日本の大手ビールメーカーであるアサヒビールが欧州の複数国で11のビール会社を買収した他、チェコ最大のビール会社ピルスナーウルケルを買収し、プラハに欧州本社を設立することを決断したのも、こうした事実を受けてのことであった。ところで、チェコには他にも有



【チェコ共和国:基礎データ】

面積 約7万9千㎞ (日本の約5分の1)

首都 プラハ 言語 チェコ語

元首 ミロシュ・ゼマン大統領 GDP(名目) 2.421億米ドル(2018年)

名なブランドとしてバドワイザーがある。バ ドワイザーは米国のビールと誤解している人 がほとんどだが、実はチェコ発祥のビールだ。

チェコ共和国は極めて安全な国である。長年、世界一安全な国上位10ヵ国に入っており、外国企業が積極的に投資する理由の一つになっている。だが、もちろん理由はそれだけではなく、他にもさまざまな要因がある。その中でも特に重要な要因として、チェコの立地、すなわち欧州最大の市場であるドイツと国境を接していること。賃金水準が相対的



美しいプラハの街並みとブルタバ川 (Prague Castle and VItava River)

に低く、ドイツの40%程度であること。EU 加盟国であること。長く政治情勢が安定し、 経済成長が見られることが挙げられる。チェ コの経済はこの5年の間に年平均3.3%で成 長し、開かれた経済政策の下、積極的に輸 出を推進している。こうした要因を背景に、 失業率は現在3%未満とEU域内で最も低く、 OECDの調査では欧州全体で貧困率が最も 低い。チェコはEU加盟国であるが、一部の EU加盟国と同様にユーロを導入せず自国通 貨のチェコ・コルナを維持している。政治と 経済の両面で極めて安定しており、格付け機 関スタンダード&プアーズによる格付けは、 今後の改善見通しがポジティブのAA-(ダ ブルAマイナス)で、中欧・東欧諸国の中で は最も高い。

チェコの主力産業は、自動車、化学、エン ジニアリングである。特に自動車産業は重要 で、国内にはトヨタ、現代自動車、フォルク スワーゲンの自動車工場があり、先に触れた ように生産コストが低いことから、製造・サー ビス企業が数多く進出している。2018年に は国内で約150万台の乗用車が生産され、1 人当たり台数で上位にランクインした。最も 人気が高いメーカーはフォルクスワーゲン・ グループ傘下のシュコダである。

自動車産業はチェコの豊田通商ヨーロッパ (Toyota Tsusho Europe SA) の事業活動 にとっても最大の要所である。同社は2001 年にチェコに進出し、以降、順調に発展して きた。立ち上げ当初は2-3人であった従業 員数も今では300人を数え、前年度の売上 高は5億ユーロ余りを達成し、チェコで最大 規模を誇る自動車事業・サービス企業に成長 した。

豊田通商ヨーロッパのチェコ支店には、自 動車グローバル部品をはじめ、物流、機械、 金属、化学品、プラスチック、保険などの事 業部門がある。2年ほど前まではエレクトロ ニクス部門もあったが分社化して、現在は ネクスティエレクトロニクスとなっている。 チェコ支店は豊田通商の欧州支店の中では最 も規模が大きく、また、その高い水準は、チェ コ自動車工業会から認められ「Company of the Year | を授与された。当社はこれま でにも200社以上の企業の中から選ばれ、 幾度となく賞を獲得している。

日系企業はチェコ経済にとって極めて重 要である。現在、200社以上の日系企業が チェコに進出し、外国企業による対チェコ 投資では日本は第2位となっている(1位は ドイツ)。特に規模の大きい日系企業として トヨタ、デンソー、AGC、ダイキン工業、 日立製作所、ジェイテクト、小糸製作所、 Koyo、三菱電機、パナソニック、東レ、古 川電気工業などが挙げられる。日系企業は中 欧全域を検討した上で、チェコに欧州本社を



構えることが多い。中欧には西欧よりもはるかに大きな成長機会があり、進出後に欧州の東または南に拡大していく際にも拠点として有利なため、大型の新規投資を次々と呼び込んでいる。

チェコで最も有名な都市といえば間違いなくプラハである。この歴史豊かな都市には多くの観光客が訪れ、面積では大都市に及ばないにもかかわらず、ロンドン、パリ、ローマに次いで欧州4番目の観光地となっている。14世紀ごろに建設され、30体の聖人像が独特の雰囲気を醸し出すカレル橋、毎年200万人もの観光客が訪れる世界最大規模のプラハ城、上部の二つの窓の中で木製の使徒が動



中世から時を刻み続ける旧市庁舎の天文時計 (Astronomical Clock)

く中世の天文時計がある旧市街広場など、いずれも世界に名だたる観光名所として、1年を通して大勢の観光客が訪れる。

気候は比較的穏やかで、気温は、ほぼ1年を通して0℃以上を保ち、氷点下になるのは1月と2月のごく寒い時期に限られる。プラハを訪れるのに最も良い時期を聞かれれば、5月をお勧めする。5月の気温は通常20~25℃であり、気持ちよく過ごすことができる。観光客の数も7月や8月の夏休み時期だ。プラハの他には、赤やオレンジの屋根瓦が連なるチェスキー・クルムロフ歴史地区や国際映画祭が開催される温泉地カルロヴィ・ヴァリ、ゴシック様式の教会が有名な歴史都市クトナー・ホラにも多くの観光客が訪れる。チェコ国内では14件の歴史的文化遺産がユネスコの世界遺産として登録されている。

他にもプラハの長所として、交通事情の良さが挙げられる。他の多くの都市とは異なり、一般的に交通渋滞が生じることがないため、車で市内を移動するのに長時間を要することはない。また、公共交通機関も十分に発達し、地下鉄、バス、トラムが市内をくまなく網羅しているため、市内であればどこでも1時間以内に行くことができる。

プラハは数多くの文化的イベントが開催される場所でもあり、その一つが3週間にわたって開催されるクラシック音楽の祭典「プラハの春音楽祭」である。毎年5月から6月にかけて開催され、世界中のクラシック音楽ファンが訪れる。チェコはその長い歴史の中で多くの作曲家を輩出しているが、中でもドボルザークは特に有名である。チェコはこれまで常に音楽が盛んな国として知られ「チェ



チャールズ橋からプラハ城を望む観光客 (Charles Bridge and Prague Castle)

チェコの伝統的な名物料理ペチェナー・カフナ (Pečená kachna) (Duck with red cabbage and dumplings)

コ人を見たら音楽家と思え」ということわざ があるほどだ。

どの国でもそうだが、チェコ人にもお気に 入りのスポーツがある。人気の高いベストス リーはアイスホッケー、サッカー、テニス で、いずれの競技でも過去に素晴らしい成績 を残している。1998年長野オリンピックで は、アイスホッケー男子でチェコチームとし て初の金メダルを獲得、ドミニク・ハシェッ クやヤロミール・ヤーガーの名前を覚えてい る人も多いだろう。また、サッカー選手では パベル・ネドベドやヘッドギアの装着で知ら れるゴールキーパーのペトル・チェフ、テニ ス選手ではイワン・レンドル、マルチナ・ナ ブラチロワ、カロリナ・プリスコバ、ペトラ・ クビトバがそれぞれ素晴らしい活躍をした。 1964年の東京オリンピックでは、体操選手 のベラ・チャスラフスカが金メダルを獲得し、 一躍有名になった。

チェコを訪れる際には言葉の問題を心配する必要はない。現地ではチェコ語が使われているが、チェコ人の語学力はこの20年間に

大きく向上し、ごく普通に英語を話すことができる。これは初等・中等学校で英語などの外国語が必修科目になっているためで、若年~中年層は1990年代に導入されたこの制度の下で教育を受けている。

チェコを訪れたなら、ビールだけでなく名 物料理を味わうことをお勧めする。最も有 名な伝統料理といえば、バラエティー豊富 なゆでパン (クネドリーキ) と肉を組み合 わせた料理である。例えば、スライスした サーロインに特製ソース、ゆでパン、クラン ベリージャムを添えたスヴィチュコヴァー (Svíčková)、ローストポークにザワークラ フトとゆでパンを添えたヴェプショヴァー・ ベチェニェ (Vepřová pečeně)、ロースト したカモ肉に紫キャベツとゆでパンを添えた ペチェナー・カフナ (Pečená kachna) を 試していただきたい。他にはチーズのフライ にフライドポテトとタルタルソースを添えた スマジェニー・スィール (Smažený sýr) も お勧めだ。訪れた際にはチェコならではの名 物料理をぜひご堪能いただきたい。 JF TC



The Czech Republic

By Libor Šteffek

The Czech Republic is a landlocked country in Central Europe, which, thanks to its location, is often referred to as the "heart of Europe". It borders with Germany in the west. Poland in the north. Austria in the south and Slovakia in the east. The independent Czech Republic has existed in its present form since 1993 and had previously formed a common state with its eastern neighbor for several decades. Many of you still remember it to this day under the name Czechoslovakia. However. in 1993, Czechoslovakia split and formed two independent states, the Czech Republic and Slovakia. The Czech Republic has a population of 10.6 million and its capital, Prague, has 1.3 million inhabitants.

The Czech Republic is most famous for its beer. Not surprisingly, this country is far ahead of the countries with the highest per capita beer consumption per year in the world. Last year, 138 liters of beer per year per Czech were consumed, followed by Austria and Germany with 105 and 101 liters respectively. This fact was also reflected in the decision of the Japanese company Asahi Breweries, which decided to buy the largest Czech brewery Plzeňský Prazdroj (Pilsner Urquell) a few years ago together with another 11 breweries in several European countries and built its European headquarters in Prague. By the way, one of the other famous brands of Czech beer is Budweiser, which most people incorrectly consider to be American beer even though its origin is actually Czech.

The Czech Republic is a very safe country. It has long been among the TOP 10 safest countries in the world. This is one of the factors that attract a large amount of foreign investment into the country. It is certainly not the only factor, as there are many reasons. Among the most important are the position of the Czech Republic, where the largest European market - Germany - is just outside the border, a relatively low level of wages, which reaches only around 40% compared to Germany, EU membership, long-term stable situation and economic growth. Over the last 5 years, it has been growing by 3.3% per year on average. The Czech Republic's economy is very open and strongly proexport. Thanks to these factors, the Czech Republic has the lowest unemployment rate in the whole European Union, which is currently below 3% and at the same time has the lowest poverty rate in the whole Europe according to OECD studies. Although the Czech Republic is a member of the European Union, its currency is not euro, but like some other countries it holds its own currency, the Czech crown. Both politically and economically, the country is very stable and according to the Standard & Poor's rating agency it is rated AA- with a positive outlook for further improvement, which is the highest rating of all Central and Eastern European countries.

The most important sectors of the country include automotive industry, chemical industry and engineering. Especially the automotive industry is very important. In the

Czech Republic there are several automobile factories (Toyota, Hyundai, Volkswagen) and thanks to the already mentioned low production costs there are a large number of manufacturing and service companies. In total, almost 1.5 million passenger cars were produced in the Czech Republic in 2018, ranking this country among the top by number of produced cars per person ratio. The most popular brand is Skoda, which is one of the Volkswagen Group carmakers.

The automotive sector has the biggest footprint in the activities of Toyota Tsusho Europe SA in the Czech Republic as well. The company began operating in the Czech Republic in 2001 and has undergone fast and successful development. From a few employees who stood at the beginning of the company, it has grown to today's 300 employees, with annual sales of more than €500 million in the last fiscal year, making it the largest automotive business and service company in the Czech Republic.

The individual sales departments of Toyota Tsusho Europe SA, which are active in the Czech Republic, include, in particular, Automotive Global Parts, Logistics, Machinery, Metal, Chemicals, Plastics and Insurance. Until recently, Electronics department was also a part of the company but it was spinned off into a separate company named Nexty. The Czech branch is the largest among Toyota Tsusho branches in Europe. Its high standard is confirmed by the Company of the Year award, which has been awarded by the Association of the Automotive Industry in the Czech Republic and which our company has won several times in competition with more than 200 other companies.

Japanese companies are a very important part of the economy of the Czech Republic. More than two hundred Japanese companies operate here and Japan is the second largest foreign investor in the Czech Republic (behind Germany). The biggest Japanese companies operating here are Toyota, Denso, Asahi Glass, Daikin, Hitachi, JTEKT, Koito, Koyo, Mitsubishi, Panasonic, Toray, Furukawa and many others. Japanese companies often consider the region of Central Europe as a whole and place their headquarters in this area in the Czech Republic. Central European region attracts a significant amount of new investment, as it offers much greater growth opportunities in comparison with Western Europe and it is also a very good place for further expansion to the eastern or southern part of Europe.

The most famous city in the Czech Republic is undoubtedly Prague. This historic city is the destination of a large number of tourists and is the fourth most visited city in Europe after London, Paris and Rome, although it is several times smaller than the other cities. Places such as the Charles Bridge, which was built as early as the fourteenth century and is surrounded by dozens of sculptures that create a special atmosphere, Prague Castle, which is the largest castle complex in the world and is visited every year by about two million people, or Old Town Square with its astronomical clock and moving wooden apostles in the two windows above them, are known all over the world and are popular destinations for tourists at any time of the year.

In terms of weather, climate conditions are relatively mild here and temperatures stay above zero practically throughout the



year, only during the coldest months in January and February they can sometimes fall to negative values. If you wonder when is the best time to visit Prague, perhaps I can recommend May. The air temperature during this month is pleasant during the day and is typically around 20-25°C, numbers of tourists are still slightly lower than during vacation months of July and August and trees and other greenery are already fully blooming. Other places frequently visited by tourists include the ancient town of Český Krumlov with its red roofs, the spa town of Karlovy Vary, which hosts a large international film festival, and the historic town of Kutná Hora with its Gothic cathedral. In total, you will find 14 UNESCO World Heritage Sites and Cities in the Czech Republic.

One of the advantages of Prague is also relatively good traffic situation. Unlike many other cities, in Prague there are usually no major traffic complications and there is no need to spend a long time traveling by car around the city. Public transport also works quite well and Prague has a dense network of metro, bus and tram lines serving all parts of the city, so you can reach any location in Prague within one hour.

Prague is also the scene of many cultural events. One of them is the Classical Music Festival, which lasts for several weeks and is called the Prague Spring. It is held annually in May and June and is visited by lovers of classical music from all around the world. Czechs have a long tradition in this respect and can boast of many names of composers, of which Antonín Dvořák is probably the best known. The Czechs have always been treated as a nation that is very close to music, and in the past it even became known that "Every

Czech is a musician".

Like other nations, Czechs have their favorite sports. The three most popular include ice hockey, football and tennis. In all three, Czechs had achieved great successes. In ice hockey many can still remember the victory of the Czech team at the Olympics in Nagano, Japan, and the names associated with it as Hasek or Jagr. Football names such as Nedvěd and goalkeeper Petr Čech with his spectacular helmet on his head or tennis players like Lendl, Navrátilová, Plíšková or Kvitová are also concrete proofs of success in this field. In the past, at the 1964 Tokyo Olympics, gymnast Věra Čáslavská was also famous for winning several gold medals.

If you go to the Czech Republic, you do not have to worry that you could have trouble with communication here. The local language is Czech, however, the language skills of Czechs have improved significantly in the last two decades and they can speak English very commonly. This is due to the compulsory teaching of English or another foreign language already at elementary and secondary schools, which has been introduced in the 1990s, so the members of the younger and middle generation have already passed this system.

During your stay I recommend to try not only Czech beer but also some dining culinary specialty. The most famous specialties are various kinds of dumplings, combined with meat. For example, try sirloin (in Czech language Svíčková), which is a beef slice of meat with specially prepared sauce, dumplings and cranberries, or pork or duck with cabbage and dumplings. Another specialty is fried cheese, which is usually served with fries and tartar sauce. Enjoy!